

第3期揖斐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略パブリックコメントへの回答

この度は、第3期揖斐川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対し、貴重なご意見をありがとうございました。
 いただいたご意見に対し、以下のとおり回答させていただきます。なお、ご意見を受けての戦略の修正は行いませんが、いずれのご意見につきましても、総合戦略に基づくまちづくりを進める上で参考になるものでございましたので、関係各課で共有し、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

番号	ページ	パブリックコメント	回答	戦略の修正の有無
1	6	結果に対する深堀がどこまでされているか不明です。例えば転出超過数第2期目標80に対し105という結果になったのは何が原因だったのか、女性、若者？それを受けて第3期目標を20としたのは何故か、そもそも転出超過数というコントロールできない数値をKPIにしているのか。	計画の数値目標の進捗については、毎年、まち・ひと・しごと総合戦略会議を開催し、実績報告と効果検証を行っています。基本目標及び施策目標の進捗状況とその理由について説明し、委員からの意見をいただきながら評価を行っています。 その中で、人口動態については統計資料に基づく理由等を説明しており、数値目標の転出超過数20人としたのも、各種施策を実施することにより、移住定住を促進し、転出超過の抑制を図るための成果として設定したものです。転出超過をKPIの数値としたのも、各種施策の実施によるアウトカムの成果として設定したものです。	無
2	27	有害鳥獣の増加は都市部の住民の山村での週末農業の機会を奪い結果として二拠点居住の機会や関係人口の増加の可能性も奪っています。大きな問題であるにもかかわらず有害鳥獣駆除とジビエ利用を同じ項目で記述するのはやめてほしい。	ご指摘のとおり、有害鳥獣対策は揖斐川町にとって重要な課題です。捕獲して個体数を減らす上において、最終の処分についての対応が当然必要となり、その一方針として「ジビエ」としての活用も検討していく必要があることから、併記しているものです。	無
3	全般	Planを設定するためにはまず現状分析、第2期のResultを分析したうえで課題を熟議し次のApproachを練ることでPlanに繋がると思います。なぜこの目標値が出てきたのかについて個々のバックデータを示さないと説得力がありません。またどこに重点を置くかもボケてきます。	総合戦略の策定に当たっては、第2期総合戦略の評価及び揖斐川町まちづくり住民意識調査の結果に基づき策定を進めています。 その中で、施策の実施によるアウトカムとして目標値を設定しています。	無
4	6	基本目標1の次に「戻って住みたいと思う人を創る」の項目を追加する。高校までは地元で生活しても、大学等への進学は町外となり、地域を離れて生活を送るのを機にその地域や大都市圏での生活にあこがれ、故郷揖斐川町に戻らない若者が多いことが人口減少に拍車をかけています。揖斐川町での生活（行事・イベント、定住支援、子育て支援、就業支援）などの情報を、直接、故郷を離れて生活しようとしている若者たちに発信することで地元へ帰ろうと思う意識の醸成・きっかけ作りができると考えます。中学・高校の卒業時や二十歳の集い等の機会に揖斐川町へのSNSへの登録を呼びかけ、揖斐川町の様々な行事・イベント、観光、産業、働く場、居住環境、子育て環境などの情報をきめ細かく提供し知ってもらうことにより、「やっぱり揖斐川町で住みたい！帰りたい！」と思ってもらい、帰ってきてもらうきっかけを作ることが重要と考えます。せつかく、幼少期から高校卒業時まで町民の皆さんからの公費により、子育て・就学支援、給食費・医療費無償化で立派に育て上げた若者たちに大学卒業後などの機会に揖斐川町へ帰ってきて、地元揖斐川町で活躍してもらいたいと考えます。 ※SNSの情報発信について 私は昨年11月に揖斐川町のLINEに友達登録しましたが、残念ながら、登録してから今日までに情報を1件頂いたのみで、ほとんど情報をいただけないのが現状です。おそらく今は政策広報課からの発信だけとなっているのではないかと思います。各課から直接発信できるような仕組みも必要だと考えます。もっと積極的に幅広く地元を離れている子供たちへ多くの情報を提供していくことが大変重要と考えます。ちなみに、公的機関ではハローワーク大垣に登録していますが、2月だけでも8件の情報が送られてきています。他の機関の状況をリサーチしてさらに充実していただきたい。	ご指摘のとおり、進学や就職で揖斐川町を離れた若者が地元へ戻るきっかけを作ることは大変重要なことです。 「戻って住む」ことは「住み続ける」ことの一部と捉えており、基本施策にあるとおり、SNSを活用したまちづくり情報や町の魅力の発信を強化し、町に愛着や誇りを持ち活躍する人づくりを進めてまいります。	無

番号	ページ	パブリックコメント	回答	戦略の修正の有無
5	8	<p>基本目標5 地域の活力を創るにおける企業誘致では、大野神戸ICからの利便性も重要ですが、豊富で安定した水資源、水力発電を前面に押し出し、女性が活躍できる企業、団体、教育機関、施設等に特化した誘致を行うべきと考えます。</p> <p>最近では、製造業でも女性の働きやすい職場環境に取り組んでいる企業も多くなり、就労時間の弾力化で管理職への女性の登用も進んでいるようであり、女性にとってやりがいのある働く場の確保をすることで揖斐川町に残ってもらえる方、帰ってきてもらえる方が増えるのではないのでしょうか。そうすれば、将来の婚姻数の増加にも繋がるのではないのでしょうか。</p>	<p>町の特徴である水資源を活用した誘致や、女性の働きやすい職場環境などに特化した誘致については、持続的発展のために有効であることはご意見のとおりです。</p> <p>また、最近開通した東海環状自動車道や国道417号冠山峠道路、都市計画道路の整備による道路網の向上をはじめ、皆さんからのご意見を伺いながら様々な角度から幅広く企業誘致を推進していくことが、町の活性化につながる重要な施策であると考えています。</p> <p>一方で、既存の事業所における女性を含めた働きやすい職場環境の整備については、揖斐川町で働きたいと思える大きな要素となります。「働きやすいまち」となるよう、取り組みを進めてまいります。</p>	無
6	10	<p>SDGsの推進を掲げるのであれば、基本目標の項目ごとにどれに該当するかマークを表示するべきと考えます。</p>	<p>SDGsの17のゴールについては、基本目標ごとに表示しており、他の計画とも統一した表示としています。</p>	無
7	22	<p>基本施策2 時代に合った地域づくりの推進 (3) 公共交通・道路ネットワークの整備 私に住んでいる揖斐川町の最南部では、自動車があって生活が成り立つという地域です。</p> <p>今後、運転免許を返納した際には、買物、通院などの移動をどうするか大変不安を感じています。</p> <p>バス路線などは、町内の中心部で描かれており、周辺の地域ではほとんど路線がありません。</p> <p>大垣市以北の神戸町、池田町、揖斐川町、大野町等の連携で西濃厚生病院をはじめとした医療施設、商業施設、養老鉄道の駅、公的機関を巡回する路線を共同で整備・運行することで、自治体の境界跨いで移動することが出来、住民の通勤・通学、通院、買物などがしやすくなるのではないかと考えます。</p> <p>また、その循環路線がそれぞれの町独自の路線に繋がることによって、町外からの利用者や観光客の利便性を高めることが出来ると考えます。</p>	<p>公共交通を維持し利便性向上や利用促進に取り組むことで、今後も路線バスとデマンドバスの併用により町の中心部と他地域のつながりを維持しつつ、費用対効果の視点も取り入れたバス運行に努めてまいります。</p> <p>他市町との連携については、現在も主要駅での乗り換えが行えるよう、路線や運行時間の調整を行っているため、引き続き、他運行事業者との連絡調整等を継続してまいります。</p>	無